

令和元年6月14日

「雁耕祭」開祭式あいさつ

43回目となる「雁耕祭」がいよいよ始まります。これまで準備にあたっていただいた山田会長をはじめとする生徒会の皆さん、林委員長をはじめとする実行委員の皆さん、特活部を中心とする先生方、大変ありがとうございます。ポスターも、赤と黒を基調とした3年次の小野さんのデザインとなる大変素晴らしいものができあがりしました。この場を借りて御礼申し上げます。

今、43回と言いましたが、本校の周年記念誌を繙くと、取手一高になってからの最初の文化祭は、1956（昭和31）年に開かれていることがわかりました。その後数回、「文化祭」という名称で不定期に開催されたようですが、1972（昭和47）年に、今の「雁耕祭」の名称でほぼ毎年開催され、今回は43回目となります。

今回の「雁耕祭」のテーマは「百花繚乱」。いろいろな花、皆さんの個性が咲き乱れ、そのなかから素晴らしい実りが得られることを祈ります。

文化、“culture”には、もともと「耕す」という意味合いがあります。偶然ではありますが、まさに、いつも話している「力耕不吾欺」の「力耕」に関連する言葉です。今回の文化祭、「雁耕祭」においても、どうか、自分のいろいろな部分を耕して素晴らしい「花」を咲かせてください。

明日、土曜日は一般の方もお出でになります。元気に、充実した2日間を過ごしましょう。